

 南房総市社会福祉協議会広報紙

てんだあ 第24号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2013年4月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



CONTENTS ~主な内容~

- 第7回南房総市社会福祉大会…… 2P
- 福祉作文…………… 3P
- 福祉ニュース…………… 4P
- 地域福祉フォーラムレポート…………… 5P
- ボランティアネット(和)ーク…………… 6P
- ワンポイント介護…………… 7P
- 善意の寄付、ちょっといい話…………… 8P

できたあ～！なが～い太巻き寿司！！

第7回南房総市社会福祉大会、みんなで10メートルのなが～い太巻き寿司づくりに挑戦。ボランティアさんのかけ声で、大人も子どももみんなの心を一つに「エイっ！」と声を合わせたら…見事！なが～い太巻き寿司が完成。「わあ～」大きな歓声が上がりました。

さて、お味はいかがだったでしょう？



なのはな
はなことば：快活



この広報紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

「誰もが安心して暮らせる福祉社会」の実現を目指して

第7回 南房総市社会福祉大会

第7回南房総市社会福祉大会が2月23日(土) 千倉保健センターにおいて開催されました。

「誰もが安心して暮らせる福祉社会」の実現を目指して、地域の皆様とともに社会福祉充実に向け一層の推進を誓いました。また、社会福祉活動にご尽力された功績のあつた方々への表彰と感謝状の贈呈、市内小中学校の児童・生徒からの心温まる福祉作文の発表に続き、記念講演が行われました。

また、市ボランティア連絡協議会の協力のもと「ボランティアフェスタ」も同時開催されました。そして今年は、来場された方々で作る「長〜い太巻き寿司」づくりも行われ、来場された方々が参加し集う活気あふれる大会になりました。



地域福祉活動功労者の表彰

表彰された皆様おめでとうございます

南房総市社会福祉協議会長表彰(敬称略)

【地域福祉活動功労者】

石井一保、渡邊裕、石野正子、高橋弘美、在原千鶴子、石井三枝子、吉田萬壽雄、早川文枝、齋藤政美、平井恵美子、古内徳子、鈴木幸子、鈴木俊子、川崎てる、小芝京子、安西隆、林恵子、山口妙子、渡辺喜代、石井静子、笹子美知恵、山田厚子、笹子田鶴子、伊丹幸司、小澤一枝、真田隆久、浅地はつ江、小宮寿美江、本橋清治、松永吟子

【地域福祉功労団体】

さくらの会(富浦地区)
上三原地区小域ボランティア(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状(敬称略)

能重三枝子(富山地区)、五十嵐善三(白浜地区)、演歌塾丸山(丸山地区)、南総歌謡連盟(館山市)、株式会社アスカ佛商(鴨川市)、演歌親睦協会千葉県事務局(丸山地区)、白浜町根本区(白浜地区)、千倉ゴルフクラブ(千倉地区)、千倉ロータリークラブ(千倉地区)、富浦町建設協同組合(富浦地区)

南房総市社会福祉協議会福祉作文表彰(敬称略)

最優秀賞 間宮理央(南房総市立和田小学校)
優秀賞 穂積佳菜子(南房総市立富浦中学校)
優秀賞 亀田早紀子(千葉県立安房拓心高等学校)

記念講演

「防災とは、知っていることで守れる命と、知らないと守れない命があるのです」

防災・防犯対策に取り組む危機管理アドバイザー 国崎 信江氏

「みんなで守ろうわが家わがまち」と題し、防災・防犯対策に取り組む危機管理アドバイザーの国崎信江さんに、女性として母としての視点で、災害弱者(要援護者)・子どもたちを大災害から守るためにできることのお話をいただきました。

近いうちに必ず起こるといわれている大地震に対し、自分たちが訓練をしておかなければいざという時には動くことができない。大地震が起きた時に「公助をあてにしては助からない」、まずは自分の身は自分で守り、津波を想定し何が何でも逃げる。そして災害弱者を守るためには地域で要援護者を把握し、災害時に遭遇する困難を考えておくことが重要とのことでした。例えば、お年寄りや肢体不自由者の移動手段をどうするか、知的障がい者は避難所生活で適応できないこともあるので、障がい者自身もまた家族も心のバリアを無くし、日頃から地域の中でその障がいを理解してもらうことも大切であると。

次に2歳からできる「ダンゴ虫のポーズ」のお話では、体の大切な部分である首や手首を守るポーズをとることで倒壊する建物から身を守り、小さい頃から意識をさせ身体で覚えることが大切。また、子どもに本人の情報を身につけさせる事は、災害発生時の混乱の中では非常に役に立ち、日頃から被災をしたら「〇〇体育館の時計の下で待つ」など災害時の待ち合わせ場所を明確にし、家族間で話し合って約束を決めておくことが大切。

また、被災を少しでも減らすために災害リスクの少ない土地に住み、地震に強い建物で暮らすことも重要で、家具の配置や非常持ち出し備品の工夫などの話もありました。実際に避難所では、暴行・わいせつ・侵入犯罪・窃盗など痛ましい事件も起きており、自宅が被害を受けていなければその危険も回避できる。

東日本大震災から2年が経とうとしている今、その教訓を活かさなければならぬという気持ちが改めてみなさんに伝わった講演でした。



命の大切さを伝える国崎さん



身を守るダンゴ虫のポーズ

育まれる“福祉の心” 福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「福祉への思い」をテーマとした
作文473編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。



最優秀賞

「民舞でのつながり」

南房総市立和田小学校

6年 間宮 理央

私は、公民館サークルの民舞に入っています。ここでは、民ように合わせておどりをおどります。幼稚園のころから週一回の練習を続けていて、年に何回か発表をします。大きな舞台としては千葉国体の開会式でどったことがあります。千葉県のいろいろなグループでおどっている人たち一つのチームになっておどりました。その時、小学生は三人だけの参加だったので、新聞などにも写真がのりました。

長年続けている舞台には、養護老人ホームでの発表があります。養護老人ホームに入所しているお年寄りの前でおどるとみなさんとても喜んでくれ、たくさん拍手をしてくれました。今年は小学校を卒業すると民舞のメンバーには、私のおばあちゃんよりも年上の人がいますが、みんな元気でとても楽しそうにおどり、いつも笑い声であふれています。

老人ホームなどの施設に入所している人、施設で働く人、同じ入所者たまに来てくれる家族以外は、人にかかわることが多いからなのか、とう着した時から、みなさん元気にあいさつをしてくれたり、発表が始まる一時間も前から会場で待っていてくれたりします。こんなに喜んで

らえる養護老人ホームの訪問ですが、いろいろな事情から今年で最後になりました。民舞のメンバーもだんだんと平均年齢が上がってきているからかもしれません。

他にも、和田町にある各地域の老人会でおどります。知っている人の前でおどるのははざかしけれど、みんなの顔を見ながらおどれて楽しいです。こうやって幼稚園から続けてきた民舞ですが、小学校の卒業と合わせて卒業する予定です。下級生の誰かが入ってくれるとうれしいと思います。メンバーみんなが「いきがい」の一つとして集まり、おどっていて、その元気をお年寄りの方たちに、ふりまいている、そんなサークルが身近にあることは、とてもすばらしいと思います。私は、この民舞を通して「ふくし」を学んでいたんだと気づきました。

「ふくし」とは、困っていない人が困っている人を助けるのではなく、ハンデいの大きな人にとっても住みやすい社会を目指すということであり、それは他の全ての人にとっても住みやすい社会につながるのだという思いを持つことが大切とありました。高齢者、児童、障がい者をはじめとする、どのようなハンデいをもった人でも特別あつかいせず、社会の中で普通の人として接していくことが大切であると・・・。

私は「ふくし」を少しかんちがいし

ていました。お年寄りを大切にすることは、お年寄りの手を大切にすることだけではなく、お年寄りと一緒におどったり、笑ったりすることも「ふくし」なのではないかなと思います。

一緒におどっているおばさんは、私に迷わく電話の上手な断り方を話してくれました。ちよつと変わった断り方で、みんな大笑いしました。お墓まいりに行く時に、民舞のおばさんの家のお墓があることを知り、行きたんびにお線香をあげるようになりました。

私はこうやって、年上のたくさんの方とつながることができました。民舞の友達の中には、早く歩くことが苦手な人も、重い物を持つのが苦手な人もいます。そういう時は、私に手伝えることを探します。曲がるところ、入口などで待っていて迷わないようにしたり、自分の手が空いていれば荷物を持ってあげたりします。すごいことをしているわけではありませんが、年のはなれた友達がいるというのは、学校の友達やスイミングの友達、塾の友達とただでは気付かないことに気がつくチャンスがたくさんあるのだと思います。

「ふくし」は、暮らしているいろいろな場面に深くかかわっていて一人一人が「ふくし」を意識して生きることが住みやすい社会づくりにつながり、身近に「ふくし」を感じるために大切なことだと思いました。

●社協ブース 「買って応援!!」



特産品も好評!!

福島県・宮城県の特産品販売を行い復興支援のご協力をいただきました。ありがとうございました。

合計:60,250円



ちびっ子コーナー
絵本を楽しむ子どもたち

同時開催されたボランティアフェスタでは、市内で活動されている多くのボランティアの方々の参加があり、日頃のボランティア活動の紹介をしました。各ブースの出店では、ちびっ子も大人もみんなで楽しみふれあつ賑わいある会場となりました。また、ブースでの売り上げの一部をご寄付いただきました。ご協力ありがとうございました。(P.8に、掲載)

みんなで参加!!

ボランティアフェスタ

FUKUSI NEWS

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースをお知らせをします。

1月18・19日

ゆったりと身体をほぐし、リフレッシュ!! 介護者のつどい

とみうら元気倶楽部、和田地域福祉センターやすらぎの両会場で、介護者のつどいを開催しました。

今回は、3B体操サークル「スマイリー」の皆さんにお手伝いをいただき、音楽に合わせて身体を動かし、輪になり肩たたきやマッサージで身体をほぐしました。また、気持ちの安定をはかるリラククス呼吸法も行いました。普段一人ではなかなか身体を動かすことがない中、皆さん笑顔が絶えず、「リフレッシュすることができた」と好評でした。

体操の後はお茶を飲みながら、日頃の介護の様子や介護の経験談、工夫してきたことなど情報交換をしました。介護のことはもちろん、お互いの身近な話題で話しも絶えず、笑顔いっぱいになりまし



トントンリズムに合わせて!!

1月25日

とんとん肩たたき かわいい園児に思わず笑顔♪ 千倉地区高齢者ふれあいの日



自然と顔もにつこり

高齢者ふれあいの日がちくちく介護予防センターゆらりで開催されました。65歳以上の独り暮らしの高齢者の方々と、朝夷幼稚園23名の園児たちとの交流です。園児たちは、歌と踊りを元気いっぱい披露してくれました。参加された方々は「かわいいねえ」とにこにこ。そして歌を歌いながら肩たたき。

午後からは市保健師による健康体操で身体をほぐし、コーラスグループ「菜の花」による、ピアノ生伴奏で素敵な歌声を聴きました。中には飛び入りで歌声を披露する参加者もいて、みんな笑顔の楽しいひとときでした。

2月1日

ふれあいと交流をとoshie 富浦地区社協 いきいきサロン

ふれあいランチサービスを利用している独り暮らしの高齢者の方々と給食ボランティアの方々との交流会が行われました。直接サービスを利用している方々からお弁当の感想を聞いて、今後のお弁当づくりに役立てたいということの実施されました。みなさんでお弁当を食べながら「毎月、楽しみにしています」「煮物が美味しいよ」「混ぜご飯が食べたいです」など、いろいろな意見を伺いました。

当日はその他に、市保健師による健康体操、ボランティア「さくらの会」の踊りの披露ありと内容も盛りだくさん!。楽しいひとときを過ごしました。参加された方々の意見を参考に、ボランティアさんも早速献立作りに役立てています。



素敵な踊りに夢中です

社会福祉協議会の会員募集 ご協力ありがとうございました。

一般会費
13,198,700円
賛助会費
797,000円
特別会費
1,015,000円

平成24年度社会福祉協議会会員募集に際しまして、多くの市民の皆様からのご協力をいただきありがとうございました。また、自治会の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成24年度の地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のために活用させていただきました。

社会福祉協議会は、これからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援、ご協力をお願い申し上げます。



FUKUSI NEWS

地域福祉フォーラム 各地区からのレポート

南房総市社会福祉協議会では、福祉をはじめさまざまな分野の人たちが協力して、地域福祉を考える座談会「地域福祉フォーラム」を推進しています。

3年目を迎える地区では、フォーラムをとおして講演会やシンポジウムなども開催されています。今回は3地区の活動の報告をいたします。

きたるべき大震災に備えるには 「近助の精神」こそが大事

和田・南三原地区合同地域福祉フォーラム



「近助の精神」を訴える山村氏

海岸部をもつ和田・南三原地区では、大規模地震による津波被害に備え、地域住民に防災意識を高めてもらうために、防災講演会を開催しました。

防災講演会には約170名の参加がありました。第1部では「南房総市防災マップの見直しについて」、また「南房総市の防災対策について」を南房総市消防防災課の佐久間直治氏から基調説明をいただきました。第2部では、防災システム研究所所長「山村武彦氏」から、「きたるべき大震災にどう備えるか？その予測と対応」と題し、防災講演を行いました。災害に備え、人と人をつなぐ自助、共助に加え、近助の精神が大切であることを学びました。

「おたがいさまの関係」 で地域の課題解決へ!!

丸山地区地域福祉フォーラム

丸山地区では、「おたがいさまで笑顔がいちばんを語る会」と題し、タウンミーティングを開催しました。地域の方々に地域福祉フォーラムで行っていることやこれから取り組んでいくこと、小中学生の福祉作文や、すでに地域で「助け合い・支え合い」に取り組んでいる団体の発表などを行いました。このタウンミーティングを通して、一層の理解を深めました。

今まで地域福祉フォーラムで話し合われた結果、地域住民・団体・商店などがネットワークで結ばれることで、地域の課題を解決できることがわかり、新しい仕組みとして「おたがいさまネットワークまるやま」を設立します。

今後は、顔と顔とが見える、おたがいさまで笑顔でいられる地域を目指し取り組んでいきます。



心温まる作文に引きこまれます

ストレスのない子育てを学ぼう

白浜地区地域福祉フォーラム

白浜地区では今年度アンケート調査を実施し、中でもニーズの高かった「子育て支援」に焦点を絞って地域福祉フォーラムを開催しました。

子育てに悩むお父さん・お母さん、孫の面倒をみるおじいちゃん・おばあちゃんにストレスのない子育てを学んでもらおうと、子ども家庭支援センター「オレンジ」所長の本多泉氏を講師に、親子関係をよくするためのプログラム（コミュニケーション・ペアレンティング＝CSP）についてお話をいただきました。

問題行動を起こした子どもに「ちゃんと」や「いいこ」といった「あいまいな表現」を使ってしつけるのではなく、「わかりやすい表現を具体的に子どもに伝えることが大事」との講師の言葉に参加者からは「実際に何種類もの問題行動の場面を想定して演習をしたのでとても参考になった」「早速家で実践してみます」といった声も聞かれ、子育て支援の後押しができたフォーラムになりました。



実践さながらの演習

ご報告

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金
ご協力ありがとうございました。



歳末たすけあい募金は、配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生委員さんを通じ、お届けいたしました。

赤い羽根募金 6,910,518 円 歳末たすけあい募金 6,853,647 円

10月からの赤い羽根共同募金、そして 12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から、多くの温かい善意をお寄せいただきありがとうございました。

自治会を通しての戸別募金をはじめ、市内の商店街、ボランティアの皆様そして、会社や各種団体・各学校の児童・生徒のみなさん等、多くの方々のご協力をいただき感謝申し上げます。

南房総市ボランティア 連絡協議会

他域との交流で ボランティア活動の課題を認識

一宮町ボランティア連絡協議会との交流研修

一宮町ボランティア連絡協議会と南房総市ボランティア連絡協議会との交流研修会が2月27日南房総市丸山公民館を会場に行われました。

当日は、それぞれから役員32名が集い活動報告と現状の課題に対し意見が交わされました。課題として「ボランティアの高齢化」が挙げられ、「どのようにしたら若年層のボランティアを取り入れられるのか？その為にはボランティア活動の楽しさを伝えていかなくてはならない」と再確認しました。

また、南房総市ボランティア連絡協議会からは各支部の活動をパネルで紹介、懇談形式で意見交換し、「また次回もお会いしましょう」と名残惜しい交流研修会となりました。



出会いを大切に！一宮町VO連の皆さんと記念撮影！

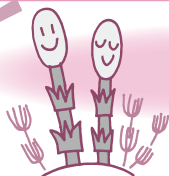
広がれ！

ボランティアネット和ノク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

ボランティアが活動をレポート

ボラ連千倉支部 声の広報 つくし会



お届けします♪声の広報

南房総市社会福祉大会 ボランティアフェスタに参加して

私たち「つくし会」は、目の不自由な方・文字を読むのが困難な方に広報誌をテープに吹き込み配布する活動をしています。

ボランティアフェスタには3回目の参加で、今回は活動の内容をパネルに展示して紹介しました。地元のお花を華やかに活けブースを演出したので、沢山の方が立寄ってくれました。また、初の試みとして、録音したテープを視聴希望者に持ち帰っていただきました。視聴されてのご感想などお聞かせください。お待ちしております。

これからも会員一同、切磋琢磨し「つくし会」向上のため微力ながらも協力し合い活動を継続していきたいと考えています。



私たち「つくし会」一同です

ボランティア

ボラ登録 更新のお知らせ

市内で福祉活動を展開しているボランティアさん！ 平成25年度ボランティア登録受付が始まります

4月1日から

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動を支援するため、平成25年度のボランティア登録の受付をします。

登録には一定の要件を満たすことが原則となっていますが、登録された場合、下記の支援が受けられます。

●登録のメリット●

- ① 社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入
- ② 社会福祉協議会が発行する情報誌等への活動内容の掲載や、活動に関する相談、助言
- ③ ボランティア活動助成金の交付
- ④ 社会福祉協議会ボランティア連絡協議会との情報交換、相互交流

登録を希望されるボランティア（団体・個人）の方は、お近くの社会福祉協議会各地域福祉センターで登録の手続きが出来ます。ぜひ、この機会に登録をお願いします。



ホームヘルパーの ワンポイント かいGO 介護

車の乗降編

高齢になると筋力が低下し、歩行が不安定になるため、少しの段差でも転倒しやすくなります。そのため、車の乗り降りをする時にはいっそう、負担も大きくなりますね。



安全に乗降するために

車高が高い車では、踏み台などを使用すると良いでしょう。乗り降りの段差を低くすることで、負担も軽減されます。また、乗り降りする際に、「グリップ(手すり)」につかまると姿勢が安定して乗り降りがスムーズになります。



手すりがない車では…

運転席と助手席のヘッドレスト部分に、「持ち手」を付けると良いでしょう。「持ち手」は市販されているものを後付けできます。また、自宅で不要となったベルトやロープなどでも代用できます。

※尚、代用品を使う際は、安全性を確かめてから使用してください。



市販の「持ち手」をつけて

お知らせ

本会では、このたび介護事業の更なる充実を図るため、ホームヘルプサービスのとみやま事業所とみよし事業所を統合し、南房総市社協ホームヘルプサービスとして、また、居宅介護支援事業所も同様に南房総市社協ケアプランセンターとして新たにスタートすることになりました。事務所は三芳保健福祉センター内となります。これまでと同様きめ細かなサービスに努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4月からの問い合わせは

- 南房総市社協ホームヘルプサービス 29-5021
- 南房総市社協ケアプランセンター 29-5022

住所 〒294-0813 南房総市谷向116-2
三芳保健福祉センター内

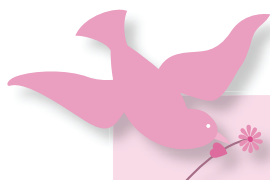
交付申請の お知らせ

紙おむつ給付事業・高齢者介護用品支給事業

紙おむつ給付事業等は下記に該当される方に給付をしています。給付をご希望の方は、下記の提出書類をそろえてお申し込み下さい。

	紙おむつ給付事業	高齢者介護用品支給事業
対象者	南房総市内に居住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に無料で紙おむつを給付します。 ①要介護認定 3・4・5 の方 ※1日中ベッド上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する方 ②身体障害者手帳 1 級・2 級の方 ③精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方	①65歳以上で要介護認定 4・5 の方 ※前年度市民税非課税世帯に属する高齢者または介護者
品目	①紙おむつ (M・L) ②尿とりパット ③フラットタイプ ※上記①から③のうち、1 品目	①紙おむつ ②尿とりパット ③紙パンツ ※1 回あたり 25,000 円以内
提出書類	①紙おむつ給付申請書 (民生委員の意見が必要になります。) ②介護保険証または障害者手帳などの写し	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

- 申込み期限 平成 25 年 4 月 26 日 (金) まで
- 給 付 月 平成 25 年 6 月 ※給付期日については、後日郵送でお知らせします。
- 申込み先 南房総市社会福祉協議会各地域福祉センター (P8 参照)
- お問い合わせ 南房総市社会福祉協議会 (本所) 電話 44-3577



※ たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成24年12月～平成25年2月

千倉ゴルフクラブ	75,600 円
体協ゴルフ部白浜支部	20,092 円
千倉ロータリークラブ	600,000 円
鋸南ロータリークラブ	30,000 円
(有) 外山商事	10,000 円
南房朝市組合	24,803 円
三石山観音寺	50,000 円
富浦町建設協同組合	30,000 円

加瀬 輝夫 (物品寄付: もち米 120 kg)
匿名 8 件 202,422 円

第7回で南房総市社会福祉大会でご協力いただいた方々からの寄付

なみはらっこくらぶ	3,000 円
ふれあい喫茶「なごみ」	3,000 円
ボランティア連絡協議会千倉支部	3,000 円
ランチサービスくら	6,000 円
平館むつみ会	3,000 円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

福祉に役立ててと千倉RCより多額の寄付

千倉ロータリークラブ様(笹子田鶴子会長)から寄付を受け、移送サービスに使用する車椅子対応の軽自動車を購入しました。

高齢の方や障がいをお持ちの方を対象とした通院や買い物などの外出支援として活躍します。



左: 笹子会長

身近な

【ちょっといい話】

いつもおいしいお弁当をありがとう♡



ありがとうの気持ちを込めて

「いつも季節の物を取り入れてくれて、手作りのお弁当は本当においしくいただいています。そこで、何か私にできることでお礼がしたかったんですよ。」と話す、丸山地区にお住まいの御子神恵美子さんは、自分の特技を活かして、手作りの三角巾と手甲をボランティアさんに作っていただきました。

この、あたたかい思いのこもった三角巾と手甲をつけてボランティアさんたちは今日も気持ちを込めてお弁当を作っています。

◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇

★第7回社会福祉大会は、ちびっ子から大人まで多くの方の参加をいただき、あらためて地域の方との「きずな」を実感した大会となりました。(F)・(H)・(A)

【各種相談】

◆心配ごと相談 ～日頃の悩みや困りごとは～

時間/13:30～16:00

4月	5月	6月	場 所
10日(水)	8日(水)	12日(水)	とみうら元気倶楽部
10日(水)	8日(水)	12日(水)	ちくら介護予防センターゆらり
12日(金)	10日(金)	14日(金)	富山公民館
17日(水)	15日(水)	19日(水)	白浜保健福祉センターはまゆう
19日(金)	17日(金)	21日(金)	三芳保健福祉センター
22日(月)	20日(月)	20日(木)	丸山公民館
24日(水)	22日(水)	26日(水)	和田地域福祉センターやすらぎ

4月
から

毎月開催となります！

◆無料法律相談 ～法律に関することでお悩みの方～

時間/13:00～16:00 予約・問い合わせ:44-3577

開設日	場 所	事前予約受付
4月25日(木)	ちくら介護予防センターゆらり	4月8日(月)
5月30日(木)	和田地域福祉センターやすらぎ	5月7日(火)
6月27日(木)	とみうら元気倶楽部	6月3日(月)
7月25日(木)	丸山公民館	7月1日(月)

○予約申込: 事前に予約受付日に午前9時から受け付けます。

○定 員: 6人(相談はおひとりにつき30分まで)

○その他: 調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

◆結婚相談 ～よい出会いを応援します～

時間/10:00～12:00 問い合わせ:44-3577

4月	5月	6月	場 所
5日(金)	10日(金)	7日(金)	ちくら介護予防センターゆらり

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

— 発行・編集 —

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3577 FAX 44-3542

◆富浦地域福祉センター	☎33-4565
◆富山地域福祉センター	☎57-2926
◆三芳地域福祉センター	☎36-2276
◆白浜地域福祉センター	☎30-5122
◆千倉地域福祉センター	☎44-3541
◆丸山地域福祉センター	☎46-2200
◆和田地域福祉センター	☎47-3390